



第20回（2020年度）



九州保健福祉大学公開講座 募集要項

今年度の公開講座タイトルは、「大学からの情報発信2020～生命医科学部から地域の方々へ～」です。九州保健福祉大学は、設立以来、地域の皆さまと共に歩み、公開講座も今年度で20年目（20回）を迎えました。この間、大学では地域交流、研究、学生教育等に鋭意取り組んでまいりました。今後も、大学内の知的財産、各学部・学科における研究内容等を地域の方々にもっと知って頂き、地域との交流を更に深めていきたいと思っております。

今年度は、「生命医科学部からの情報発信」です。

受講して
みませんか？

～ 日 程 ～

<7月18日(土)午前10時～10時20分>

公開講座開講式



<7月18日(土)午前10時20分～12時>

【メインテーマ：バーチャル病院受診 ①～病院で最初に行う検査って何だろう～】

講師 山本 成郎（生命医科学部教授）

<8月29日(土)午前10時～12時>

【メインテーマ：バーチャル病院受診 ②～血液の病気 一白血病と貧血～】

講師 宮本 朋幸（生命医科学部准教授）

<9月26日(土)午前10時～12時>

【メインテーマ：バーチャル病院受診 ③～がんの検査～ 病理検査・細胞診検査ってなに？～】

講師 長濱 純二（生命医科学部准教授）

<10月31日(土)午前10時～12時>

【メインテーマ：バーチャル病院受診 ④～人工臓器はどこまで進歩したの？～】

～サイボーグは夢じゃないかも！ 目指せ人生120年BTQ!!!～

講師 竹澤 真吾（生命医科学部教授）

<11月28日(土)午前10時～12時>

【メインテーマ：バーチャル病院受診 ⑤～腎不全はこわい病気！？～】

講師 丹下 佳洋（生命医科学部講師）

<12月19日(土)午前10時～11時30分>

【メインテーマ：バーチャル病院受診 ⑥～いま注目される水素医療～】

講師 池脇 信直（生命医科学部教授）



<12月19日(土)午前11時30分～12時>

公開講座修了式

～講師概要および講師プロフィール～

<7月18日(土) 午前10時20分～12時> 【①～病院で最初に行う検査って何だろう～】



病院を受診した場合、初診・再診の違いはありますが受診する前後には尿を提出したり採血を行ったりします。提出された、その尿や採血した血液の事を「検体」と呼びますが、この検体はいったいどのような流れで、どのような検査が行われているのでしょうか？また、病院で頻繁に検査される項目の内、検体とは別に患者さんの体を検査する生体検査、特に心電図検査についても紹介いたします。本講義では、この検体検査と生体検査の流れ、そして検査結果から導かれる事柄の一例を出し皆さんで臨床検査について学んでいきたいと思ひます。

講師 山本 成郎 (やまもと いくお) 生命医科学部生命医科学科 教授
熊本県出身、大学卒業後宮崎医科大学医学部附属病院検査部勤務、在職中に宮崎大学修士課程及び宮崎医科大学医学研究科博士課程修了、博士(医学)。病院では主に遺伝子検査、災害支援そして外来部門管理を行う。また病院勤務と同時に、宮崎県消防学校救命科外部講師、南九州大学非常勤講師、九州大学医学部保健学科非常勤講師を併任し30有余年の病院勤務を経て2019年3月に宮崎大学附属病院を退職し4月より現職。専門は臨床検査、災害医療支援。

<8月29日(土) 午前10時～12時> 【②～血液の病気 ー白血球と貧血ー ～】



血液の代表的な機能に「運搬」、「免疫」、「止血」がありますが、血液の病気はそれぞれの機能に異常が起こることによって発症し、どの機能に異常が起こるかによって症状が違います。また、血液には「赤血球」、「白血球」、「血小板」といった細胞や、様々な機能を持った蛋白質が含まれ、この中のどれに障害が起こるかによって病気も異なります。今回は血液の病気の中でも「血液のがん」である「白血病」と、若い女性の4人に1人は罹患しているといわれる「鉄欠乏性貧血」をはじめとした「貧血」に焦点を当てて解説したいと思ひます。

講師 宮本 朋幸 (みやもと ともゆき) 生命医科学部生命医科学科 准教授(がん細胞研究所研究員)
東京都出身。岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 博士課程修了(医学博士)。臨床検査技師細胞検査士。学生時代から「がん」に興味を持ち、大学院では「がん」とその遺伝子について研究を行った。現在は「がん研究」と並行して、「細胞検査士・臨床検査技師」を養成している。

<9月26日(土) 午前10時～12時> 【③～がんの検査～ 病理検査・細胞診検査ってなに?～】



がん検査には、病理検査、内視鏡検査、画像検査(X線、CT、MRI、PET、超音波検査)、血液検査(腫瘍マーカー)などがあります。なかでも病理検査・細胞診検査は良性か悪性かを診断するための重要な検査です。病理検査・細胞診検査の結果「悪性」つまり「がん細胞」が検出されれば患者の病状に応じて外科的治療(手術)や内科的治療(抗がん剤、放射線治療等)が施行されることとなります。今回は病理検査や細胞診検査がどのように行われているかを紹介し、そこに従事する臨床検査技師や細胞検査士の仕事内容や役割について解説したいと思ひます。

講師 長濱 純二 (ながはま じゅんじ) 生命医科学部生命医科学科 准教授
宮崎県延岡市出身。大分大学大学院 医学系研究科病態制御医学専攻 博士課程修了(医学博士)。大分大学附属病院病理部で30有余年臨床検査技師、細胞検査士としてがんの早期発見や診断に従事。2019年3月に大分大学附属病院を退職し同年4月より現職、本学にて「細胞検査士・臨床検査技師」の養成に携わる。

<10月31日(土) 午前10時~12時>

【④人工臓器はどこまで進歩したの?~サイボーグは夢じゃないかも! 目指せ人生120年BTQ!!!~】



歳をとると体のあちこちのガタが来て、あそこが痛い、ここが動かん!と、いろいろ不都合が出てきます。多少のことならまあしょうがないとあきらめますが、とても痛くて歩けない状態などに陥ると、お薬では治せません。そこで登場するのが体の一部の機能を代行する埋め込み型医療機器です。皆さんの周りには、すでにそれら医療機器を埋め込んだサイボーグがいます。どのようなものが実際に使われているのでしょうか。ぜひご覧になってください。

講師 竹澤 真吾 (たけさわ しんご) 生命医科学部生命医科学科 教授

東京都出身。最終学歴：早稲田大学大学院理工学研究科化学工学専攻。工学博士。血液透析を主体とする横浜の病院に16年間勤務し、患者さんと一緒に医療機器の開発を行ってきました。その後大学の教員となり大学発ベンチャー企業を設立、代表取締役も兼務しています。医療機器開発を教育現場で実践している日本では珍しい大学教員です。

<11月28日(土) 午前10時~12時> 【⑤~腎不全はこわい病気! ?~】



“肝心要”という言葉があります。この言葉は、“肝腎要”としても使われます。“腎”すなわち腎臓は、心臓や肝臓とともに命の要となる臓器です。本講座では、健康な生活を送るための腎臓との付き合い方についてお話します。後半は、腎臓が機能しなくなる病気である“腎不全”とそれを治療する“血液透析”に関するお話をします。血液透析に用いられる人工腎臓により救える命があります。市民のみならずと一緒に関心を持って最新の健康について最新トピックとともにお話しさせていただきます。

講師 丹下 佳洋 (たんげ よしひろ) 生命医科学部生命医科学科 講師

愛知県名古屋市出身。九州保健福祉大学大学院博士(後期)課程修了 博士(保健科学) 2001年大学4年時に配属された研究室にて、水道水の蛇口に接続された人工腎臓を発見。研究室の先輩方が人工腎臓から出てくる水で普通にコーヒーを入れて飲む様子に不安を抱く。以来、人工腎臓に興味を持ち研究に没頭、成果を国際学会等で報告した。大学卒業後、名古屋市と岡山市の透析専門病院にて臨床工学技士として勤務。2008年九州保健福祉大学保健科学部臨床工学科助手、助教、講師を経て2020年4月より現職。本講座では蛇口に接続された人工腎臓のナゾ(?)が明らかになります。

<12月19日(土) 午前10時~11時30分> 【⑥~いま注目される水素医療~】



活性酸素があらゆる病気や老化の原因であることが分かってきました。この活性酸素を取り除く方法として注目されているのが水素です。水素を生体内に取り入れることは、悪玉活性酸素であるヒドロキシルラジカルを無毒化し、病気や老化の予防、さらには症状の改善を図ることができます。近年、水素が医療の分野に応用されるようになりました。急性心筋梗塞、脳梗塞、関節リウマチ、慢性閉塞性肺疾患、糖尿病、気管支炎、喘息、さらには抗がん剤の副作用軽減など、その有用性が報告されています。水素医療は、水素が持つ「チカラ」を利用した先進医療技術です。

本公開講座では、いま注目される水素医療に関わる話題、ならびに我々が開発に成功した水素発生装置「スイソニア」の医療分野への応用について紹介します。

講師 池脇 信直 (いけわき のぶなお) 生命医科学部 生命医科学科 教授、免疫学研究所長。

宮崎市出身。北里大学大学院衛生学研究科修了(衛生学修士)、東海大学医学部大学院医学研究科修了(医学博士)、北里研究所研究員、慶応義塾大学医学部研究員、東海大学医学部付属病院移植免疫センター勤務、北里大学大学院専任講師、1999年から本学保健科学部教授、2008年から本学薬学部教授、2015年から現職。専門は公衆衛生学、臨床感染免疫学、臨床検査学。

= 募 集 要 項 =

2020年度九州保健福祉大学公開講座の全体テーマは、「大学からの情報発信2020～生命医科学部から地域の方々へ～」で、全6回シリーズです。6回まとめたの募集ですが、都合のつかない講座は受講されなくても構いません。受講を希望される方は下記により事前にお申し込みください。

～応募方法～ ※いずれかの方法でお申込ください。

- ①郵 送：〒882-8508 宮崎県延岡市吉野町 1714-1 九州保健福祉大学
公開講座委員会事務局宛に、往復はがきで「郵便番号・住所・
氏名（ふりがな）・年齢・電話番号」を記入し申し込んでください。
(復) はがきにも返信宛先を書いてください。
- ②FAX：0982-23-5530
九州保健福祉大学 公開講座委員会事務局宛
「郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号」をご記入の上、
上記FAX番号に送信して下さい。
- ③E-mail：kuhw-syomu@office.jei.ac.jp
※ 必ず件名に「公開講座申込」と記載して下さい。
「郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号」をご記入の上、
上記アドレスに送信して下さい。

・ 申込締切 7月8日（水）必着でお願い致します。

～受講について～

- ・ 定 員 今年の**定員は100名**です。
※新型コロナ感染拡大防止対策とし、3密を避けた形で開催致します。
※高齢者（65歳以上）の方を主に対象としていますが、
それ以外の年齢の方も受講お待ちしております。
- ・ 受 講 料 大人2,000円、高校生以下500円
全6回シリーズの受講料で、受講回数
に関係なく定額です。
※万が一、新型コロナ感染の影響で開催できない月がある場合も定額となります。
なお、受講料には資料代を含んでいます。
受講料は初回の公開講座実施日（7月18日）に徴収します。
- ・ 受 講 連 絡 申込受付後、「公開講座に関するご案内」を送付します。
- ・ 修 了 証 書 全講座を受講された方に「修了証書」を最終日に授与します。
- ・ 応 募 先 〒882-8508 延岡市吉野町 1714-1 九州保健福祉大学庶務課内
公開講座委員会事務局 宛
TEL 0982-23-5555（代）
- ・ 講 座 会 場 九州保健福祉大学 F講義棟
- ・ 駐 車 場 ※駐車場がありますので、ご利用下さい。

～九州保健福祉大学附属図書館利用について～

本学では附属図書館を市民の方に開放しておりますのでご利用下さい。
開館時間：平日9：00～20：00、土日祝日9：00～18：00
(年末年始・8月中旬一定期間、学内行事により臨時閉館することもあります)